

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術を受けた患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ先までご連絡ください。
また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本件研究の対象者に該当されると思われる方またはその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。なお、その申し出は研究成果公表前までとなりますのでご了承願います。

研究課題名	大牟田市立病院におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術の初期経験
研究責任者	地方独立行政法人大牟田市立病院 泌尿器科 責任者名：熊谷 壽二
研究の目的と意義	当院では、2023年度にDavinciが導入され、2023年6月からロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（以下、RARPという）を実施しています。ロボット支援手術に関しては、初回実施前に大牟田市立病院のロボット支援手術評価委員会の承認を受け、症例毎に報告書を提出し安全性を確認し実施しています。 今回、これまで実施したRARPの初期治療成績について検討します。
調査データ 該当期間	2023年6月1日から2024年3月31日までの情報を調査対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる方 受診科：地方独立行政法人大牟田市立病院泌尿器科 対象疾患：前立腺癌と診断され、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を受けた方 ●研究の実施期間 病院長の研究実施許可日から 2025年3月31日まで ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 【項目】年齢、身長・体重、ECOG Performance Status、病歴[生検・手術歴、転移の有無、転移巣、治療歴、手術記事、術後合併症 * この研究は、大牟田市立病院倫理委員会臨床研究専門部会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。
情報の保護	研究に関わる関係者は、対象となる患者さんの個人情報およびプライバシーの保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。 対象となる患者さんの個人情報は、個人情報が特定できないよう加工を行い、その個人情報を復元できる情報（対応表）は、研究責任者が保管します。

外部への情報提供	外部への情報提供は行いません
利益相反について	本研究の実施にあたり特定企業との利害関係はありません。
試料・情報の提供の の辞退に関するお申 し出先・お問い合わせ 先	地方独立行政法人大牟田市立病院 研究責任者：熊谷 壽二 臨床研究管理室 電話：0944-53-1061（平日 9 時～16 時）
備考・その他	